

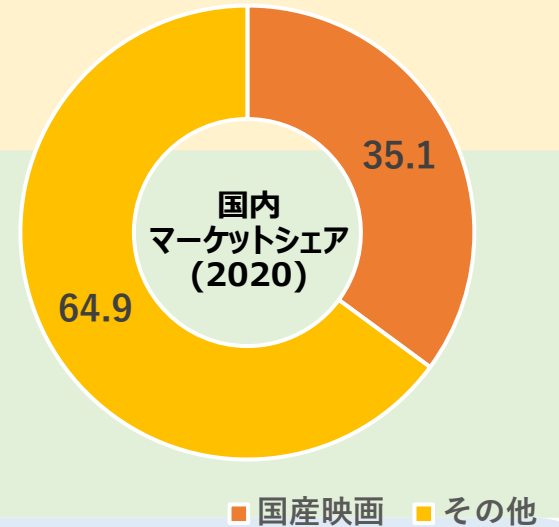


映画産業

- ・国内興行収入は欧州3位 (全世界7位)の規模を誇る
- ・映画製作本数は世界第9位、国際共同製作の割合は3割程度

国内市場

- ・自国映画の興行収入は2割程度 (2020年は例外)
- ・興行収入の上位はハリウッド映画が占める
- ・興行収入、動員数共に減少傾向、公開作品数は増加



市場データ (2020年)

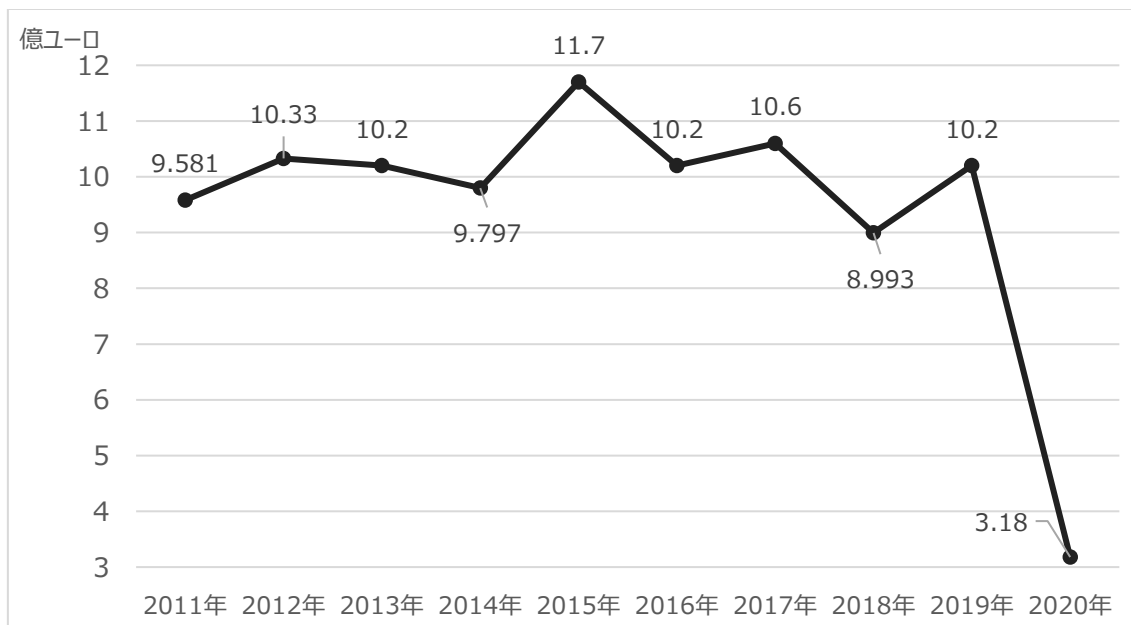
- ・国内興行収入: 3.18ユーロ (2019年: 10.2億ユーロ)
 - ・国内の劇場動員数: 0.381億人 (2019年: 1.186億人)
 - ・国内のスクリーン数: 4926 (2019年: 4961)
 - ・平均チケット価格: 8.3ユーロ (2019年: 8.6ユーロ)
 - ・一人あたりの年間平均入場回数: 0.5回 (2019年: 1.4回)
 - ・マーケットシェアにおける国産映画の割合: 35.1% (2019年: 21.5%)
 - ・映画製作本数: 152本 (2019年: 265本)
- *100%国産 = 98本、国際共同製作 = 54本

ドイツの国内市場規模

1. 興行収入（2011-2020）¹

* 欧州の中では興行収入が伸び悩み 2020 年に大きく落ち込みましたが、世界第 7 位の規模である。

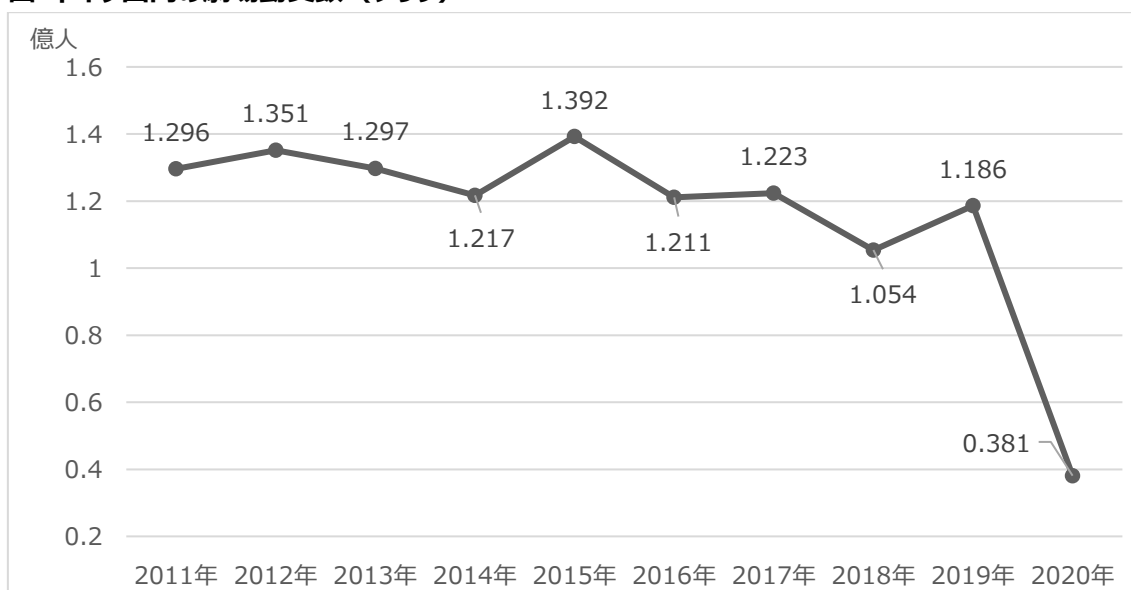
図 ドイツ国内の劇場興行収入（グラフ）



2. 動員数（2011-2020）²

* 1.2 億人前後を推移していたが、2020 年は大きく落ち込み 3 割程度となった。

図 ドイツ国内の劇場動員数（グラフ）



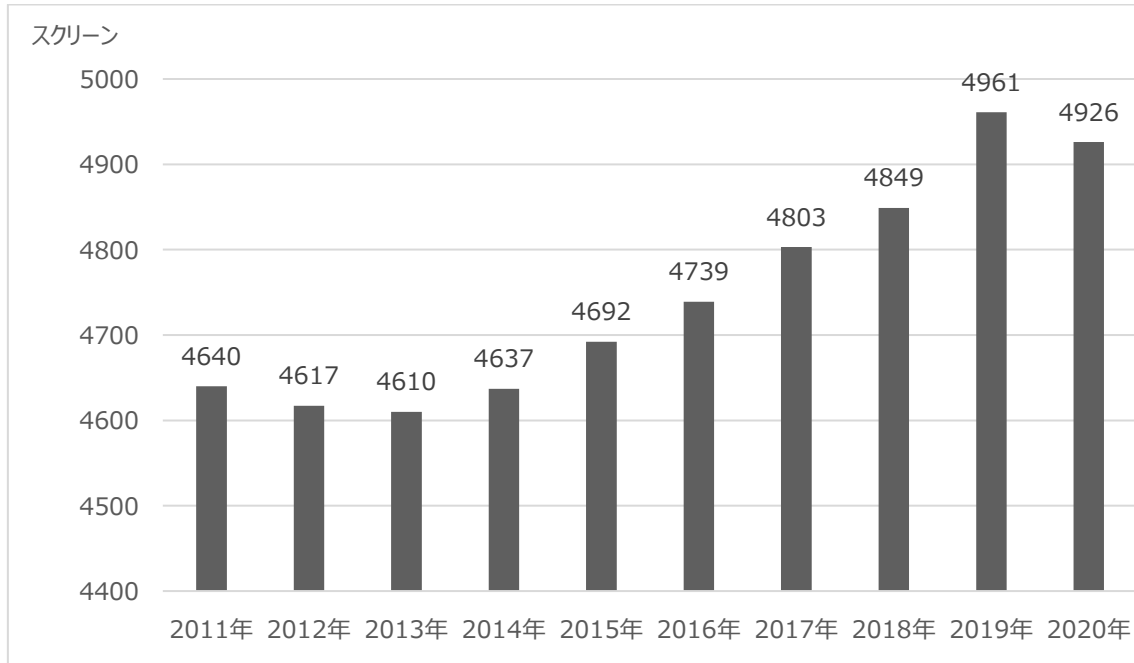
¹ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2011 年版～2020 年版を元に作成

² 同上

3. スクリーン数 (2011-2020) ³

* スクリーン数は一時減少したが、デジタル対応スクリーンの増加で持ち直し、現在は 5000 程度。

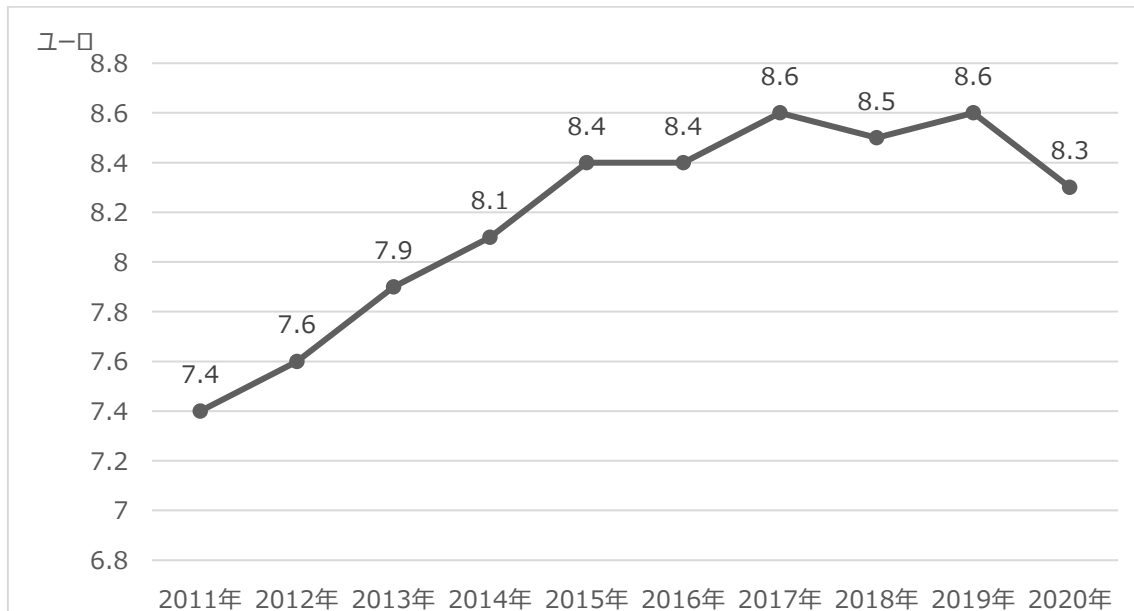
図 ドイツ国内のスクリーン数 (グラフ)



4. 平均チケット価格 (ユーロ) (2011-2020) ⁴

* チケット価格は年々上昇しており、欧州の中でも高水準である。

図 ドイツ国内の平均チケット価格 (グラフ)



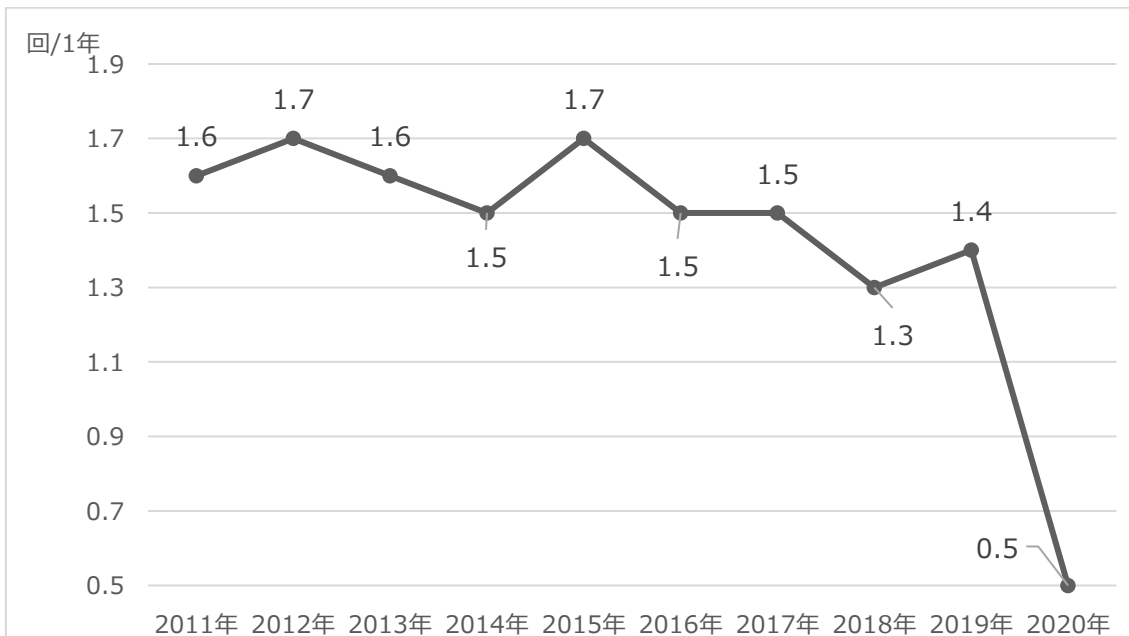
³ European Audiovisual Observatory 発行 「FOCUS」2011 年版～2020 年版を元に作成

⁴ 同上

5. 一人あたりの年間平均入場回数（2011-2020）⁵

* 欧州平均（2019年：2回）を下回って推移し、2020年は0.5回にまで落ち込んだ。

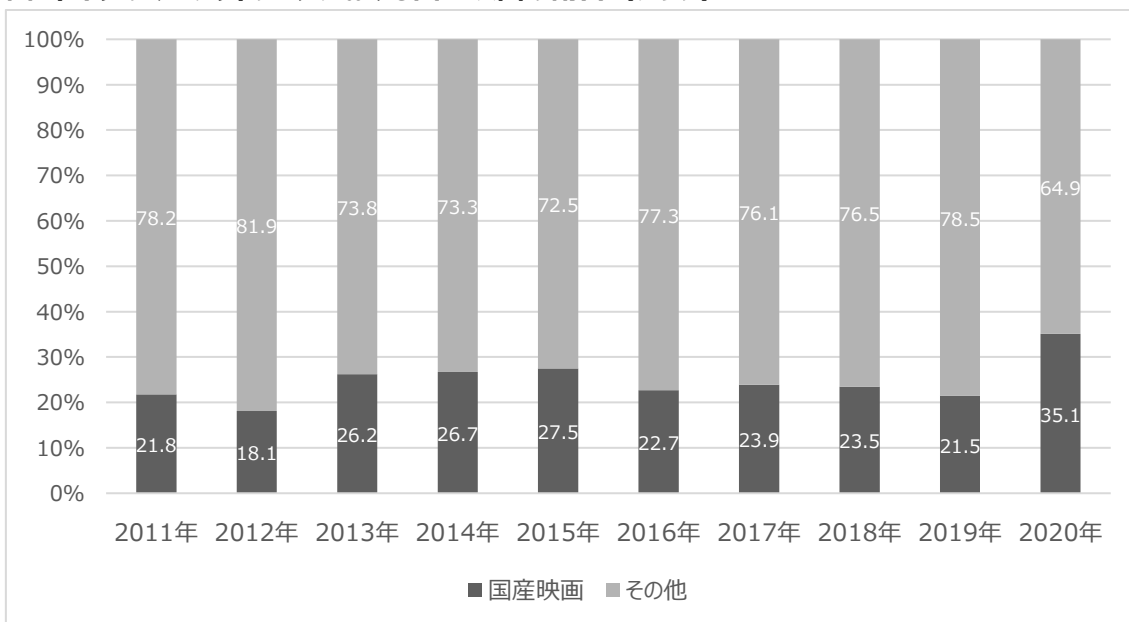
図 ドイツ国内の一人あたりの年間平均入場回数（グラフ）



6. マーケットシェアにおける国産映画の割合（2011-2020）⁶

* 国産映画の割合は減少傾向で2割強程度だったが、2020年は35%程度に持ち直した。

図 ドイツのマーケットシェアにおける国産映画の割合（グラフ）



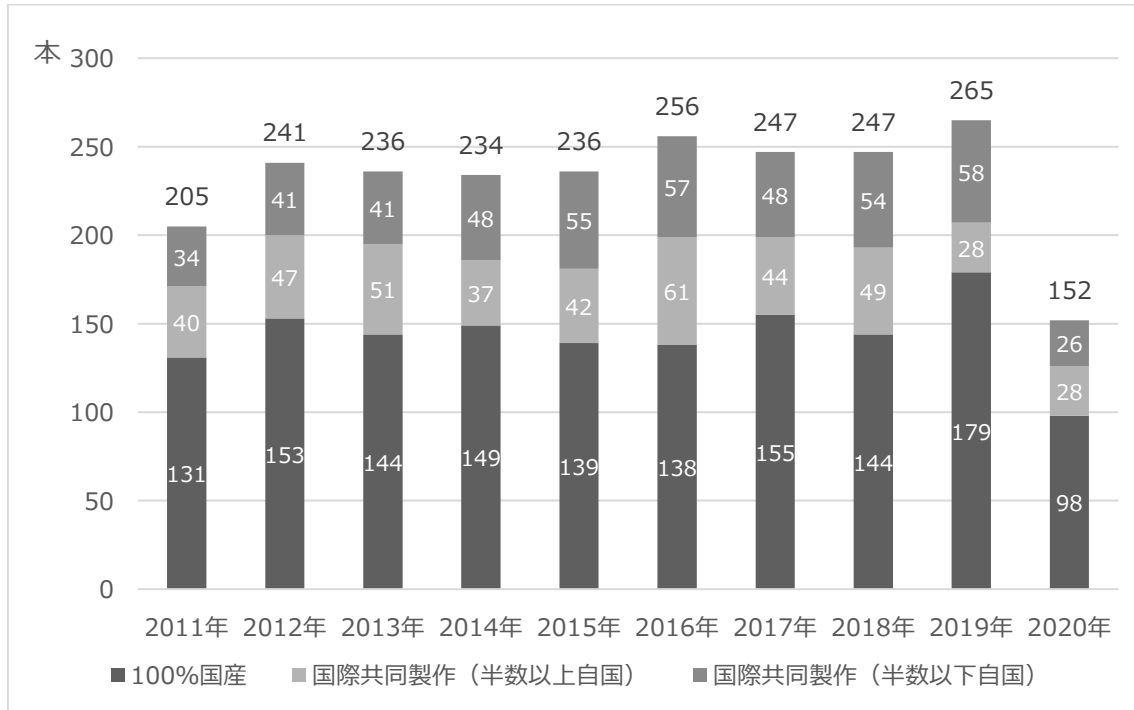
⁵ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2011年版～2020年版を元に作成

⁶ 同上

7. 映画製作本数（2011-2020）⁷

* 製作本数は欧州 3 位の規模で、国際共同製作の割合は他国と比較しても高水準である。

図 ドイツの映画製作本数(グラフ)



⁷ European Audiovisual Observatory 発行「FOCUS」2011年版～2020年版を元に作成